

全日中事務局だより

新しい年度を迎え、気分も新たにと思いつつも、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が様々な形で表れ心配です。東京オリンピック・パラリンピックの年ということもあり、感染が収束することを心から願っています。

昨年度には、事務担当者会など、やむなく一部中止をいたしました。が、今後は、年間行事予定どおりに進められればと願うばかりです。

全日中事務局では、時差出勤等による混雑緩和に寄与すべく工夫をしているところですが、いずれにしましても感染予防のため、生活習慣を見直し、仕事内容を改善し、事務局の人的組織力で難局を乗り切ろうとしています。

様々な全日中の活動を支えられるよう事務局として、努力してまいりますので、全日中の活動及び事務局からのご依頼等にご理解ご協力ください。

▼新会員の皆様へ

令和2年度、新たに中学校長としてご栄転、ご栄進された皆様に心からの祝意を表します。

全日本中学校長会の新会員としてお迎えできた皆様そして現会員の皆様には、来年度新教育課程の全面实施を迎え、新たな学校経営方針等を作成するための資料として、本年末までには、「全日中新教育ビジョン」をお手元に届ける準備をしています。また、全日中新教育ビジョンの構成については、以下のように取りまとめています。

- ・「取組の方向」未来を創る力を身に付けさせたり、学びの場を充実させたりするために学校で推進すべき取組の方向を示す。
- ・「現状と課題」取組に関する現状と課題を根拠資料やデータに基づき示す。
- ・「取組の必要性」現状と課題を踏まえ、取組の必要性を分かりやすい表現で示す。

さらに、全日本中学校長会の活動は、

①機関誌「中学校」（毎月発行）
②会報（年報・毎年10月発行）

③記念誌「中学校教育五十年」誌、「中学校教育六十年」誌、「中学校教育七十年」誌に組織の概要や活動内容が掲載されています。各校長室に保管されているかと思しますのでご確認ください。

▼全日本中学校長会基金の管理・運営
本会は、昭和52年「中学校教育30年」の記念事業として、全日中の将来を展望し、中学校教育振興を期し、我が国の教育諸課題への活動を強力に展開する財政的基盤の確立のため、全会員の拠出による「全日中基金」を創設しました。以来、毎年新会員に拠出している。ただし、基金の積み立てを継続してまいります。

基金は、基金管理運営規定、同運営細則に基づき、基金管理運営委員会により管理、運営されています。基金管

理運営委員会は、各地区選出副会長8人と会計部長の9人で構成されています。

基金の管理は、現在一つの銀行と二つの証券会社で定期預金と国債の形でこなっています。堅実な管理及び運営を基本としています。基金管理運営状況は、理事会で基金管理運営委員長から報告され、総会でも報告されます。

○基金の支出と現状

平成14年6月、それまで事務局を置いていた文部科学省の分館が取り壊され、平成13年末までに積み立てられていた基金から、2億5千万円程を充当し、現在の「全日本中学校長会館」(築後26年中古物件)を購入しました。平成23年度には、基金から東日本大震災で甚大な被害を受けた東北3県の中学校長会に各3千万円、9千万円を義援金として拠出。令和元年9月末の基金残高は、定期預金、国債を合わせて5億円余となっております。この他に、

不動産の形で全日本中学校会館の土地と建物が基金財産となります。平成7年以降、預金金利が低く基金益金収入が激減、益金で賄っていた費用を特別会計と一般会計で充当せざるを得ない状態が続いていました。平成19年度より、全日中基金管理運営規程第5条に基づき、預金より利率がよく「確実な有価証券」として国債を購入、配当収入で地区大会補助費1地区分を賄えるようになりました。その後国債を追加購入し、新任校長バッジ贈呈代を賄うことができ、平成28年度に地区大会補助費2地区分も賄え、現在は、3地区まで対応できるまでとなっております。基金の活用を図っています。今後の会館建て替え、会員数の減少による収入減、物価上昇、消費税の増税による支出増に備え基金拠出へのご理解ご協力をお願いいたします。

○全日中バッジ(純銀製)

昭和34年に会員としての意識高揚と

連帯感を深める目的でバッジ制定、昭和63年度からは新任校長に就任祝いとして贈呈。今年度もお届けします。是非ご着用ください。

○基金の継続と拠出のお願い

基金の趣旨、基金の管理運営規程、同細則、拠出依頼書等の関係文書は、都道府県中学校長会事務局を通して新会員の皆様のお手元に届けられます。趣旨をご理解いただき、基金継続にご協力をお願いいたします。

▼「全国中学研究校便覧第32集」

6月に刊行、頒布価格一冊千円。

各都道府県中学校長会扱いで一括してご注文をいただいています。

▼「週案」

全日中の「週案」は学校経営に資するもので、市販されているものより使い勝手がよく安価だと好評をいただいています。年々使用校も増えていきます。頒布価格は、一冊900円です。

(事務局長 松澤 宏尚)